

ふるさと応援便

株式会社 神栄

×

湧別町企画財政課所属地域おこし協力隊

ご寄附いただき ありがとうございます

北海道オホーツク海沿岸に位置する湧別町。雄大な土地だけでなくサロマ湖とオホーツク海に面しており、漁業・農業・林業など一次産業がとても盛んな町です。そんな小さな町から全国の皆さまへ“生産者の想い”をお届けします。



ホタテはザクザク！？ 味と食感で勝負

湧別町登栄床(とえとこ)漁港でホタテと牡蠣の販売をしている株式会社 神栄の今泉社長にお話を伺うことができました。

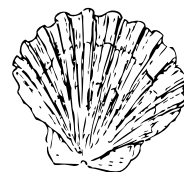
日本最大の汽水湖であるサロマ湖で育ったホタテや牡蠣は、日本で唯一流水が来るオホーツク海の栄養豊富な海水と豊かな森林から注ぐきれいな川の水で、栄養をしっかり蓄えて美味しく育ちます。養殖ホタテは身が分厚くてフルーツマトのように非常に甘く、活きがいいので噛むとザクザクと音がするほど食べ応えがあるそうです。また、牡蠣は暖かな産地のものと比べると小ぶりですが、牡蠣本来の甘味や旨味が塩気によって際立つので味には自信があるとのこと。

おすすめの食べ方は牡蠣もホタテもやはりお刺身。塩気が強いので一度水洗いをするとう美味しく食べられると教えてくれました。まだ知名度は低いですが、サロマ湖の牡蠣はオイスターグランプリで1位を獲得したり、テレビ番組「プラタモリ」でもサロマ湖の海産物が紹介されたりと近年注目を浴びることも多くなっています。

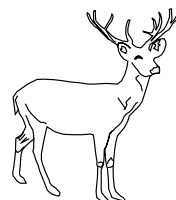
流水が来るオホーツク海ともつながっており、冬にはしばれる(北海道の方言で「凍る」という意味)サロマ湖。牡蠣は寒すぎると死んでしまうこともあるのだそう。せっかく育てた牡蠣が出荷できずに死んでしまうことがこの仕事をしている中で一番悲しいことだと話していました。

過酷な自然環境とうまく付き合う

そんな厳しい自然環境と向き合いながら、旬である冬場には凍ったサロマ湖で牡蠣の水揚げ作業は行われます。なんと、湖に出るのはスノーモービル。そしてスノーモービルにはチェーンソーが積んであります。厚い氷をチェーンソーで切り、氷の下にある牡蠣を引き上げるのです。より良い品質を求めて、自分たちも美味しいと思える商品を作ることを考えているため、手間を惜しまず様々な機械や人手を使って作業をしているそうです。今泉社長は「一度食べてもらえれば、サロマ湖のホタテ・牡蠣の美味しさが必ず分かる。他にも有名な産地はたくさんあるが、味への自信はあり、サロマ湖の牡蠣・ホタテが一番でだと思って生産しているのので、一度食べてみてほしい。」と力強くおっしゃっていました。



インタビュー動画
公開中！



湧別町 ふるさと納税

何度もお越しいただけるよう、魅力あるまちづくりに努めます。

—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—「—

湧別町役場 企画財政課
〒099-6592 北海道紋別郡湧別町上湧別屯田市街地318番地
TEL：01586-2-5862 FAX：01586-2-2511

湧別町ふるさと納税ページ

